

低山

Low Mount Club



'22.1 No.679

創立 60 年の歴史 低い山を歩く会

<http://yamajp.com>

会員総数・67 名 (2022・1・1 現在)

《目次》

1 月号の山行プラン・・・2

山行ルポ・・・・・・・・・・3 戸定が丘歴史公園／水沢山からニツ岳／古賀志山／静岡県・千葉山／堂所山から

高尾山／丹沢大山から大山三峰

低山だより・・・・・・・・・・6～8 低い山を歩く会 60 周年記念行事祝賀パーティー写真／令和 3 年上期会計報告書

INFORMATION

1 月の編集委員会 1 月 6 日(木)15 時
1 月の集会・役員会 1 月 24 日(月)15 時

会場:IKE・BiZ
(としま産業振興プラザ)
電話:03-3980-3131

◎11 月の集会・役員会出席者・・21 名 ◎11 月の編集委員会・・6 名

◇山行届・事務報告などあらゆる山行の連絡は リーダーキャップ 熊澤美恵子

電話 090-5318-0292 メール:qqqu9ss9K@basil.ocn.ne.jp

◇集会などに関する問い合わせは 企画キャップ 山本悦子

電話&FAX 03-3903-7535

◇会費の納入などに関する問い合わせは 会計キャップ 眞鍋雅光

電話&FAX 03-3302-2987 (携帯 090-9300-4736)

会費振込先 郵便振替口座記号番号 00150-8-291146 口座名称 眞鍋雅光(マナベ マサミツ)

◇入会・退会・住所変更・会報の発送その他の連絡は 総務キャップ 坂井郁子

電話&FAX 047-384-0347

◇ホームページに関する問い合わせは ホームページキャップ 三ツ谷征志 (電話は下記)

◇編集に関する問い合わせは 4 ページ「低山だより」参照

緊急連絡先

◆阿武信夫(会長)	電話&FAX 048-822-7228 携帯:090-5429-1685
◆熊澤美恵子(リーダーキャップ)	電話&FAX 042-492-6971 携帯:090-5318-0292
◆三ツ谷征志(遣対キャップ)	電話&FAX 042-324-5854 携帯:090-6021-1457
◆村川征津子(保険担当)	電話 03-3828-5207

1月の山行プラン

★10026 回

高柄山

A 中級

期日 1月8日(土)

集合・出発 JR中央線上野原駅改札 7時30分(高尾
7時6分発甲府行 上野原着 7時22分)

地図 昭文社/高尾・陣馬

持物 一般登山用具

コース 上野原駅―御前山―高柄山―大丸―四方
津駅

歩程 5時間40分 *地図によるコースタイム
参考(昼食、休憩含まず)

ポイント 中央沿線の山 上野原～大月方面(富士
急行線沿線)への尾根道 その①

申込み 1月5日(水)まで 電話は 21 時まで
メッセージ希望

リーダー 小松浩文 090(2254)5474

SL 未定(募集中)

備考 天候により参加者と調整する

★10028 回

焼山～二子山

A 中級

期日 1月22日(土)

集合・出発 西武池袋線芦ヶ久保駅 8時45分改札前

参考 西武池袋駅 7時2分発急行飯能行

飯能着 7時49分 7時52分発西武秩

父行 芦ヶ久保駅 8時35分着

地図 昭文社/奥武蔵・秩父

1/2.5万図 正丸峠

持物 一般登山用具

コース 芦ヶ久保駅―二子山―焼山―二子山―
芦ヶ久保駅

歩程 4時間30分

ポイント 岩場、クサリ場があります。

申込み 1月20日(木) 20時まで

リーダー 阿武信夫 048(822)7228

090(5429)1685

anno_nobu@ybb.ne.jp

SL 網代節子 03(3636)4793

★10029 回

金沢八景野島公園から稱名寺、金沢文庫

A 級

期日 1月23日(日)

集合・出発 京急金沢八景駅改札前 10時

(品川 9時17分発特快久里浜行が 9時

55分に着きます。Lは京急川崎から乗車し
ます)

地図 京浜急行、横浜市などでお求めください

持物 タウンウォーキング装備 弁当

コース 金沢八景駅―平潟湾プロムナード―野島公

園展望台―旧伊藤博文別邸―海の公園―

柴口駅―稱名寺―神奈川県立金沢文庫

―京急金沢文庫駅

歩程 3時間

ポイント 海なし県の埼玉県に住んでいる者にとっ
て、海面のキラメキは憧れです。

申込み 前夜 7時まで

リーダー 森田準之助 04(2946)3011

090(1105)5633

★10030 回

レインボーブリッジとゆりかもめ

A 級

期日 1月29日(土)

雨天順延

★10027 回

とびおやま はちすげやま
鳶尾山～八菅山

A 中級

期日 1月15日(土)

集合・出発 小田急線新宿駅 7時30分発急行小田原
行車内(5号車あたり)または本厚木駅中
央改札口 8時25分

地図 1/2.5万図厚木、上溝

持物 一般登山用具

コース 本厚木駅(バス)＝鳶尾団地―展望台公園
―金毘羅神社―展望台―鳶尾山―いこい
の森公園―八菅山―展望台―八菅神社―
八菅橋―一本松(バス)＝厚木駅

歩程 約4時間

ポイント 標高は低いですが、冬晴れなら厚木市内をはじ
め関東平野、丹沢の山々、相模湾など展
望の良いコース。八菅神社はパワースポッ
トとか。

申込み 1月13日(木)まで

リーダー 服部千重子 03(5934)6131

080(1076)1510

集合・出発 JR 新橋駅ゆりかもめ乗車口 9 時 30 分
 地図 不要
 持物 ウォーキング用品・昼食はレストラン
 コース 新橋駅＝芝浦心頭駅＝レインボーブリッジ
 －お台場公園＝潮風公園＝船の科学館＝
 テレコムセンター＝豊洲＝新橋駅
 歩程 3 時間
 ポイント レインボーブリッジを歩いて渡る。また、ゆ
 りかもめの乗車を楽しむ。
 申込み 1 月 27 日(土)まで
 リーダー 今西光輝 03(6780)1792
 080(2043)9897
 SL 山崎玉枝 03(3861)3770
 080(2370)4799

★10031 回
 北八ヶ岳・北横岳 冬山入門
 期日 1 月 28 日(金)～1 月 29 日(土)

集合・出発 JR 中央本線茅野駅改札 11 時 15 分
 新宿駅 9 時発あずさ 9 号茅野 11 時
 11 分着 在来線八王子駅 8 時 16 分発
 茅野駅着 11 時 6 分着
 地図 1/2.5 万図 蓼科山・蓼科
 持物 冬山一般装備
 コース 茅野駅(バス)＝ピラタスロープウェイ前－
 パンション(泊)
 パンション－ロープウェイ－坪庭－北横岳
 往復
 歩程 2 時間/4 時間
 ポイント 久しぶりの雪山です。まずは雪になれるこ
 とです。
 申込み 1 月 21 日(金)まで
 リーダー ミツ谷征志 042(324)5854
 SL 大澤幸子
 備考 天候、リーダーの調子により山頂に行かな
 いで下山します。

山行ルポ

★10012 回
 戸定が丘歴史公園 A 級
 期日 10 月 17 日(日)
 10 月 24 日(日)を変更

会報記載の日程を前倒してしまった。どのように
 そのことを参加希望の方々に伝えようか、全員に伝え
 る手段はない。今ある“ライン”を使ってみようと思い
 案内を掲載。幸いなことに 4 名の方から連絡があった。
 当日は雨であった。

3 階にある松戸駅の改札口を右に出て階段を地上
 まで降りると戸定邸の案内板があった。

案内に従い飲食街を抜けると左には台地が、前方に
 は緑の丘が見える。丘は戸定が丘歴史公園である。丘
 の登り口は駐車場であり、門の手前の駐車場の片隅
 にある直売所で生落花生を 100 円でゲット。門を潜
 り左側の戸定歴史館を訪れる。現在放映中の大河ド
 ラマ“青天を衝け”に関連した「幕府再興とパリ万博」
 の展示会が開催されていた。時間を掛けじっくりと見
 学する。その後、前方にある戸定邸に靴を脱いで上が
 って見学する。廊下、通路が意外と狭くすれ違うには
 “江戸仕草”でやんわりと。広間から見る庭は雨でしっ
 とりとして目に優しく心が落ち着く。各部屋には“科学
 と芸術の丘”松戸市と文化庁の催し物がどっしりと占
 拠しており、特に庭の良く見えるところは特等席とば
 かりになにをも憚ることなしにトーク番組を流してい
 る。風呂場は広いが湯舟は小さい。冬には修験者の修
 行を、風呂に入るたびに行っていたのではと思う、そ
 こを離れ庭園の四阿へ移動して昼食。石川さん持参
 の酒肴を楽しんだ。

となりは千葉大学園芸学部のカンパスである、そ
 のままスルーして入る。逆も可なり。

カンパスを一回りして丘を下って飲食街に入るが、
 日曜日、昼間のためか、店は閉まっている。駅ビル内
 のショップで打ち上げ。

松戸駅市は駅から 10 分、散歩場所として好適地を
 お持ちである。(阿武信夫)

(参加者)L 阿武信夫・SL 石川泰男・坂井郁子・奥山富
 士子・井上恵子・三橋ヨシエ(計 6 名)

(コースタイム)松戸駅 10:00－戸定が丘歴史公園
 10:30－千葉大学園芸学部キャンパス－松戸駅 14:
 20(タイムは参考値)

★10013 回
 榛名 水沢山から二ツ岳(相馬山を変更) A 上級
 期日 10 月 30 日(土)

久しぶりの会山行、メンバーを見たらルポ当番も止むなし。登山口の水沢観音は早朝のせいか、参加者はまばらであった。登山の安全を祈願しスタート。いきなり73段の急な石段の登り、境内の飯綱権現の社、万葉植物園跡地や歌碑などを見学しながら登山道を進む。

やがて長い急坂の木の階段、頂上近くまで続く。結構きつい。この登山道は地元のボランティアの方々が整備しているとのこと。たまたま整備中の方に出会い話を聞くと、粘土質と軽石の急坂のため降雨時の流出を防ぐため整備しているとのこと。その後しばらく登ると突然十二体の石仏が並ぶ見晴台。眺望を楽しんだ後、小さなピークを越えたところが水沢山の山頂。山頂は狭く既に多くの人で混んでいた。

谷川連峰、日光白根山、赤城山、相馬山をはじめ近隣の山々はもとより、遠く富士山まで望む360度のパノラマを堪能することができた。

リーダーから予定していた相馬山へは時間的に無理とのこととニツ岳に変更するとの話があり、山頂を後にした。急なヤセ尾根を一気に下り林道を横切り、森林公園内へ。ツツジやモミジの林の中を進む途中、青空と紅葉の美しさに足が止まる。

やがてニツ岳の分岐標識にしたがい、巨石に囲まれた石段のつづら折の登山道を進む。

屏風岩を過ぎると避難小屋があり、ここが雌岳への登山口。急な丸太の登りがしばらく続き傾斜が緩くなり、さらに進むと雌岳の山頂、狭い山頂でしたが展望は良かった。

分岐に戻り雄岳へ、やはり石段の急な登山道を登り詰めたところがオンマ谷への分岐。さらに進むと前方にテレビ中継の建物が見えてくる。この建物の裏側がゴツゴツした岩の山頂で休むところもなく、早々に下山、分岐まで戻る。

ニツ岳登山口周辺は巨岩と樹木に囲まれた日本庭園のようであった。

その後伊香保温泉へ、モミジ橋はみごとな紅葉と多くの人で賑わっていた。

三つのピークはいずれもすばらしい眺望、そして紅葉の美しさを堪能した山旅でした。

(小杉正司)

(参加者) L 熊澤美恵子・SL 三田村久子・藤沼淑江・小杉正司(計4名)

(コースタイム) 水沢観音 9:30—見晴台 11:00—水沢山 11:25—森林公園 12:25—ニツ岳分岐 13:15—雌岳 13:50—雄岳 14:30—ワシノ巣風穴

15:45—伊香保温泉モミジ橋 16:20—伊香保バス停 16:40

★10014回

古賀志山

A 中級

期日 11月7日(日)

JR 宇都宮線の栗橋線路内に煙が出て予定の電車が運休となり、30分以上の遅延というアクシデントが発生する。宇都宮駅から赤川ダムサイト(公園管理棟下)までタクシーで向かいスタートする。次の南コース分岐まで森林公園の散策路も侮れず、途中コースアウトあり尾根に向かい軌道修正する。分岐で地図を見て東登山口を探すも見つからず断念し、東南稜コースの標識を見つけ進むが途中から作業道歩き、そして行き止まりとなる。その時リーダーの一言で尾根に向かい藪漕ぎとなったが無事尾根に取り付き、暫く歩くと東稜コースに合流し山頂を目指す。登山道は岩場の鎖あり楽しめたが、昨下山で通った南コースであることに気付く。

古賀志山は人が沢山なので見晴らしの良い御嶽山へ迂回コースを通過しハシゴに登り向かう。頂上の展望は最高で日光連山を一望、晴天にはグライダーが流れゆっくり昼食を取る。

下山は分岐まで戻り瀧コースの標識を確認。山道、岩下道は踏み跡がしっかりあり途中アルヤマ堂跡(岸壁直下の岩屋)を見学。そして人の声が聞こえ、そこには多くのクライマーがリードクライミングをしていた。それを横目で見ながら先を進む。

また弁天三社に寄ったり、不動の滝(雄滝)は水が流れておらず残念でした。山道の木々には小学生の標語が書かれたポスターが貼られ道案内にもなっており癒されます。瀧神社に安全に下山できた事を感謝し、アスファルトの林道を進み南登山道駐車場を目指します。古賀志山には多くのコースがあり変化に富んでいますので第3回目に期待したいですね。

(酒匂和代)

(参加者) L 熊澤美恵子・小杉正司・大澤幸子・藤沼淑江・佐藤敦子・酒匂和代(計6名)

(コースタイム) 赤川ダムサイト 9:50—南コース分岐 10:35—古賀志山 11:55—御岳山 12:20—瀧神社 14:36—南駐車場 14:50

★10016 回

静岡県・千葉山

A中級

期日 11月19日(金)

東京から5名、現地参加の私と6名が島田駅からバスに乗り、30分あまりで「尾川」に着く。バス停すぐそばの尾川丁仏参道入口から登る。

参道には赤いエプロンを掛けた石仏があり、両側は高い樹林で覆われ、まわりの景色は見えないが、時々茶畑が現れ、きれいに刈り取られて美しい。茶処静岡である。2時間ほどで智満寺に着く。ここは天台宗の古刹。本堂や千手観音立像が国の重要文化財になっている。

ここから千葉山を目指す。裏山には国の天然記念物に指定されている十本杉(現在は7本)があり、どれも巨大で立派な杉でびっくり！山頂で昼食後、智満寺に戻り(*L後述)、どうだん原に行く途中で私は疲れ、足が重くなってきたので残念だがOさんと二人で下山することになった。(田中紘子)

*智満寺は裏山一帯の千葉山も含む広大な所有地を持ち、古刹らしい風格を感じる。しかし何が原因かわからないが、奥の院(山頂)への入口に「参拝の方以外の立ち入りはご遠慮ください」という大きな立て看板があり、登山・ハイキング・トレランなど通行禁止と書いてある。下ってくるハイカーがいるので、私たちも通ることに。参道の途中には「登山・ハイキングの方はお帰りください」の看板が次々と出てきて、悪いことをしていないのにいやな感じだ。

山頂からどうだん原へ向かう道があるはずだが、なかなか見つからなかった。しばらくしてガッシリと封鎖した竹垣の向うに道が見えた。しかし乗り越えていくわけにもいかない。やむをえず寺まで戻り、迂回路からどうだん原へ向かう。もう遅いかなと案じていた紅葉は、起伏のある広い原を真紅に染め、まだ十分見ごたえがあった。誰もいない原で景色を堪能し下山した。

1名が日帰り、5名が島田に1泊し、翌日は4名で掛川市の粟ヶ岳へ。こちらは会報にプラン掲載が間に合わなかったのが個人山行としたが、一面の茶畑の中を登る、非常に展望の良い山だった。(L)

(参加者)L服部千重子・井上恵子・今西光輝・奥山富士子・田中紘子・藤田弘治(計6名)

(コースタイム)島田駅＝尾川バス停・尾川丁仏参道入口10:05―亀石11:45―智満寺12:10～20―千葉山・奥の院13:00～30―智満寺14:15―どうだ

ん原15:00～15―伊太丁仏参道15:20―伊太和里の湯バス停16:15＝島田駅

★10017回

堂所山から高尾山へ

A中級

11月20日(土)

高尾駅発のバス停はどれも長い行列で増便している。車中で飲食ができなかったので少し食べてから歩き出す。底沢峠に登ると稜線上は人の往来が目立つ。堂所山を目指すが高尾山からの関東平野は霞んでいる。景信山へ着くと驚くほどの人達が休んでいる。山菜天麩羅を売り大繁盛の茶店は池袋の繁華街より大密状態だ。私達も早めの昼食にした。ここの見晴らし台も展望は良くないので下る。登山道がひどく荒れている。ショートカットや植樹帯に道が2重3重にできている。「ここは登山道ではありません」と書かれロープが張られている。一丁平を過ぎると紅葉狩り山行らしくなって、銀色のススキともみじの紅葉の対比が素晴らしい。モミジ台でエビネが種を付けているのを見た。階段の途中に宴会組がいる。高尾山に一步踏み入れてのけぞる。富士山も見えない見晴台に何重もの人垣ができていて。慌ててマスクを付け、余りの人出に長居は無用と稲荷山コースを下った。(三橋ヨシエ)

(参加者)L阿武信夫 SL網代節子 三橋ヨシエ

(コースタイム)高尾駅バス8:10～陣馬高原下バス停8:50～底沢峠
10:05～堂所山10:30～景信山11:30～城山13:05～もみじ台
14:20～高尾山口15:40

★10018回 丹沢大山から大山三峰へ

期日 11月21日(日)

A上級

秦野駅に着くとヤビツ峠行バス停は長蛇の列で、取り敢えず並び、2台目のバスに立つのを覚悟して乗り込む。30分余り頑張って立っていたので、下車してすぐ歩き出すのが辛かった。少し休んでから階段状の所から登り始める。大山山頂までは、抜きつ抜かれつ、途中の分岐からは家族連れの人達と一緒にいった。山頂は凄い人たちであった。写真を撮り、これから歩く登山道の脇道で休憩した。晴れ間は少しあるが、天気予報では5時過ぎから雨とのことだ。もってくれよと祈りつつ、目指す三峰へと歩く。遠くの山々には紅

葉が、また、ススキがあちらこちらと、秋の風景にとても心が癒された。まずは唐沢峠を目指す。標識もなく探していたら、折よく後ろから来た男性に聞くことができて、無事到着した。ここで昼食タイムとする。煮物、ポテトサラダ、漬物と、短い時間の中、美味しく食べた。

これから先は、地図上では破線の道、岩場もあり、しっかりと鎖がついているが、何度登りを繰り返したんだろう。梯子なども出てくる。緊張感があつたのでやたら喉が渇く。木々の間からは赤や黄色の紅葉が綺麗。その落ち葉を踏みしめながら三峰山へ向かう。

やっと三峰山に着き写真を撮る。そして物見峠へと、もう下りばかりと思っていたら、またいくつか登り降りしながら、分岐までと頑張るが足がいう事を聞かず、何度か尻もちを突いてしまった。結局、バス時間に間に合わないという事で、峠には行かず、煤ヶ谷バス停へ下山する。時々枯れ葉がまるで雨が降るように舞い落ち、神秘的な風景に心が和んだ。だんだんと暗くなりヘッドランプを点けると雨が降っているのに気付いた。地元の人に聞いて無事バス停に着く。長い道のりであったが充実した一日であった。本厚木の反省会でのビールは格別だった。（中島水保子）

（参加者）熊澤美恵子・三田村久子・藤沼淑江・大澤幸子・佐藤敦子・中島水保子（計6名）

（コースタイム）ヤビツ峠09・15―大山山頂10・30（30分休憩）―唐沢峠12・15（昼食25分）―不動尻分岐13・15―大山三峰主峰14・00―物見峠分岐15・30―煤ヶ谷バス停17・05

低山だより

◎低い山を歩く会創立 60 周年記念祝賀会参加御礼と全員写真 7 ページ

◎令和 3 年上期会計報告書 8 ページ

◎1月の山行プランについて

本 1 月号掲載の山行プラン 6 本（グレードの内訳、A 級 2 本、A 中級 3 本、冬山入門級が 1 本 11 月 30 日の役員会で了承されました。

◎2022 年 2 月の集会・役員会は 2 月 25 日（金）、編集委員会は 2 月 14 日（月）です。

◎11 月 30 日の集会出席者

順不同 森田準之助・服部千重子・網代節子・大澤幸子・山崎玉枝・阿武信夫・森永孝子・三橋ヨシエ・奥山富士子・村川世津子・眞鍋雅光・武井光子・金沢正秋・今西光輝・熊澤美恵子・井上恵子・植竹早苗・横塚征一郎・三田村久子・坂井郁子・三ツ谷征志 計 21 名

◎メガネの忘れ物

新橋亭祝賀パーティー会場 ZOFF 製女性物老眼鏡 網代節子が保管しています。

◎編集に関する問い合わせは

SC 三田村久子

TEL&FAX 03(3630)0988

低山 通巻 679 号 2022 年 1 月号 発行／2022 年 1 月 1 日発行）発行人／阿武信夫（低い山を歩く会 会長）発行所／低い山を歩く会 〒330-0064
さいたま市浦和区岸町 7-3-3 ☎048-822-7228
頒価／300 円（送料 120 円） 編集委員／三田村久子・浜橋保代・金沢正秋・山崎玉枝・伊東栄子・横塚征一郎 版下作成／横塚征一郎 〒185-0021 東京都 国分寺市南町 1-7-11 TEL&FAX 042-323-6080

低い山を歩く会創立60周年記念祝賀会参加御礼

11月27日に新橋亭において、会員の約半数の方の参加をもち皆様のご協力の下無事に終了できましたこと心から感謝いたします。ありがとうございました。コロナ禍の中、初期の日程から約2か月延期することにより緊急事態宣言が解除され、感染者数が激減し落ち着いた状態となりました。いろいろな事情で参加できなかった方々もいらっしやったことと思います。参加された方々は旧交を温め話に興じられ楽しいひと時を過ごされた様子でした。会の運営につきご批判もいただき、行き届かない点多々ありましたことをお詫びいたします。これからも会の行事に積極的にご参加されることを希望しつつ御礼のご挨拶とさせていただきます。

また、60周年記念祝賀会に合わせ服部副会長のひとかどならぬご尽力のたまもので60周年記念誌を会場で参加された会員の方々にお渡しすることができました。末尾で申し訳ありませんが深く服部副会長に感謝申し上げます。

2021年12月

低い山を歩く会会長 阿武信夫



令和3年上期会計報告書

1. 一般会計収支

(自令和3年4月1日 至令和3年9月30日)

(単位：円)

収	入	支	出
前	期	繰	越
1,167,522	会	報	印
597,100	会	報	印
9,100	会	報	発
1,000	会	場	使
ゲ	ス	ト	参
寄	付	金	費
利	息	4	行
テ	ン	ト	使
角	川	マ	ガ
			ジ
			ン
			監
			修
			料
			ホ
			ー
			ム
			関
			係
			費
			住
			所
			録
			作
			製
			代
			金
			45,500
			次
			期
			繰
			越
合	計	1,774,726	合
			計
			1,774,726

2. 避難対策費

(自令和3年4月1日 至令和3年9月30日)

(単位：円)

収	入	支	出
前	期	繰	越
1,555,659	次	期	繰
利	息	6	
合	計	1,555,665	合
			計
			1,555,665

3. 金銭保管管理状況

一般会計

(単位：円)

みずほ銀行鳥山支店 低い山を歩く会 一般会計口座	1,032,209
十口現金	7,945
郵貯銀行 真鍋雅光口座	561,700
計	1,601,854

避難対策費

(単位：円)

みずほ銀行鳥山支店 低い山を歩く会 避難対策費口座	1,555,665
---------------------------	-----------

上記会計報告書は正確であり適切に処理されていること認めます。

令和3年9月30日

会計監査委員

三橋ヨシエ

会計監査委員

森永孝子